令和5年度 第4回理事会

日 時：令和5年7月7日（金）15：30～

場 所：森林総合研究所（つくば市）特別会議室
（テレビ会議併用）

I. 報 告

1. 第16回国立研究開発法人協議会総会について（非公表） [研究企画科]
2. 「コンプライアンス推進に向けた2023年度標語」について [法令遵守担当理事]
3. 特定母樹等普及促進会議の開催について [林木育種センター]
4. 森林整備センターの全国安全週間の取組について [森林整備センター]
5. 令和5年度保険料収入及び保険金支払の実績（暫定値）について（非公表）
[森林保険センター]

II. その他

1. 今後の主な会議・行事予定について
2. 主要行事
3. 森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

第4回理事会資料
令和5年7月7日
法令遵守担当理事

「コンプライアンス推進に向けた2023年度標語」について

この度、コンプライアンス推進に向けた2023年度標語の募集を行い、各部門のコンプライアンス推進委員会による審査の結果、各優秀標語が決定いたしましたので報告します。

なお、これら優秀標語3作品は、当機構における2023年度のコンプライアンス推進標語として、今後1年間にわたり周知、活用してまいります。

また同作品は、国立研究開発法人協議会（国研協）の今年度のコンプライアンス推進月間2023の統一スローガン候補として当機構から応募いたします。

【森林総合研究所等】

「無意識」の思い込みこそ 意識しよう

北海道支所 吉田和正

- 次点 自分基準 ハラスメントの 可能性
コンプライアンス推進室 宮本榮一
応募総数 34 点（20 名）
（人数内訳：役員 1、研究所 10、支所 6、林木育種センター 3）

【森林整備センター】

コンプラは 組織を守る 防護柵

広島水源林整備事務所 山崎浩介

- 次点 怒るより 諭して伸ばそう 新たな芽
山口水源林整備事務所 紙本奈保子
応募総数 103 点（69 名）
（人数内訳：役員 1、整備センター 17、整備局 4、水源林整備事務所 47）

【森林保険センター】

馴れ合いを 打破する勇気が 守る未来

保険業務課 加嶋将史

- 次点 叱らずに 良いところ見つけて 褒め育て
所長 吉永俊郎
応募総数 32 点（16 名）

以上

特定母樹等普及促進会議の開催について

1. 会議の目的

本会議は、平成 25 年度の間伐等特措法の改正により、特定母樹制度が導入されたことを契機とし、特定母樹等の早期普及に向けた取組を地域において促進するための情報交換及び共同研究の推進を目的として、平成 27 年度から育種基本区ごとに開催しているところ。

2. 構成

特定母樹等の普及に取り組む都道府県・林業関係団体、その他必要に応じて目的の達成に資する団体等のほか、林野庁関係では研究指導課等及び各地区の森林管理局、機構関係では、森林総合研究所及び各支所、森林整備センター及び各整備局等、森林保険センター（関東のみ）、林木育種センター及び各育種場の参加を予定。

3. 令和 5 年度の開催予定

- ・北海道地区 時期：10 月 3 日（火）（林業研究・技術開発推進ブロック会議と同日程）
場所：かでの 2・7（北海道札幌市）
- ・東北地区 時期：10 月 5 日（木）（林業研究・技術開発推進ブロック会議と同日程）
場所：森林総合研究所東北支所（岩手県盛岡市）
- ・関東地区 時期：8 月 7 日（月）～8 日（火）
場所：東京都農林総合研究センター（東京都立川市）及び東京都農林水産振興財団青梅庁舎（東京都青梅市）
- ・関西地区 時期：9 月 26 日（火）（林業研究・技術開発推進ブロック会議と同日程）
場所：近畿中国森林管理局（大阪府大阪市）
- ・九州地区 時期：10 月 25 日（水）～26 日（木）（林業研究・技術開発推進ブロック会議と同日程）
場所：九州森林管理局（熊本県熊本市）及び九州育種場（熊本県合志市）

以 上

森林整備センターの全国安全週間の取組について(報告)

全国安全週間(7月1日(土)~7日(金))に合わせて、森林整備センター役職員の労働安全に対する意識の向上等を図るとともに、水源林造成事業に係る事業者の労働安全を図るため、以下のような取組を行った。

1. 役職員の労働安全意識の向上等を図る取組

役職員の労働安全意識を改めて喚起するため、「令和5年度安全週間実施計画」に基づき、以下のような取組を実施した。

① 安全衛生対策に関する意見交換会の実施

各職場において、「現場出張時の労働安全対策の手引き」等を参考とし、現場の危険箇所やヒヤリ・ハット事例等、労働安全衛生に係る情報の共有と意識の向上を図るための意見交換会を実施

② 保護具・救急薬品等の点検・補充、防災体制等の確認、職場巡視

③ 安全教育(安全講話)の実施

7月4日(火)に林野庁から講師を招き、安全講話を実施
参加者:森林整備センター及び森林保険センター役職員
※整備センター(川崎)、関東整備局は会議室で聴講
整備局及び水源林整備事務所はオンラインで参加

2. 水源林造成事業に係る事業者の労働安全を図る取組

令和4年度に水源林造成事業地では重大災害1件(作業道修理中に車両系建設機械ごと路肩から転落)を含む24件の労働災害(全体の半数が伐木等作業に起因)が発生した。(令和3年度は24件、重大災害ゼロ)

このため、今年度は、以下の「令和5年度の取組における重点指導事項」を基に、水源林造成事業に係る事業者に対する安全衛生指導の強化に取り組んでいる。

また、全国安全週間においては、5月29日付け事務連絡「水源林造成事業における全国安全週間の取組について」に基づき、森林整備センター職員が事業実行中の現場に赴き、造林者等の安全管理責任者の同行のもと、「安全指導チェック票」による作業状況の確認及び必要な安全衛生指導を行うなどの取組の強化を図った。

なお、令和5年度第1四半期に水源林造成事業地では6件の労働災害(重大災害はゼロ)が発生、7月以降は刈払機やチェーンソーを使う作業が増えることから、引き続き安全衛生指導の徹底に取り組む必要がある。

【令和5年度の取組における重点指導事項】

- ・ 車両系建設機械の転落等の防止措置の徹底
- ・ 造林者等の安全管理体制等の確認・指導
- ・ 労働者の就業に当たっての措置の徹底
- ・ 伐木・造材作業における基本事項の遵守
- ・ 労働災害に係る自主的な未然防止対策の取り組み

Ⅱ－1

令和5年7月理事会資料
 国立研究開発法人
 森林研究・整備機構

今後の主な会議・行事予定について

日付	研究	整備	保険	行事名	場所等
7月12日	○			森林総合研究所関西支所令和5年度公開講演会 「広葉樹活用のすすめ－広葉樹林を『お宝』として活かすために－」	龍谷大学響都ホール校友会館 (主催：関西支所)
7月15日	○			シンポジウム「Research and Management of Forest and Biodiversity in Sarawak」 (マレーシア国サラワク州における森林と生物多様性の研究と管理)	つくば国際会議場 (主催：一般社団法人 日本サラワク森林研究コンソーシアム、後援：森林総合研究所)
7月18日	○	○	○	農林水産省国立研究開発法人審議会 第25回林野部会	農林水産省 (主催：農林水産省)
7月22日	○			エコフェスひたち2023	日立シビックセンター (ブース出展：林木育種センター)
7月28日	○	○	○	森林総合研究所 夏の一般公開2023	森林総合研究所 (主催：森林総合研究所)
8月9日	○			木の酒研究棟完成見学会 (正式名称：木質バイオマス変換新技術研究棟)	森林総合研究所 (主催：森林総合研究所)

主要行事（令和5年6月9日～令和5年7月6日）

月 日	行 事 内 容	出 席 者
6月9日(金)	【共】機構リスク管理委員会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
〃	【共】理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
13日(火) ～14日(水)	【整】会計実地検査	森林業務担当理事
14日(水)	【研】長谷川総務大臣政務官視察	理事長、研究担当理事
〃	【研】森林産業コミュニティ・ネットワーク(FICoN)第7回ウェブ検討会	理事長
19日(月)	【共】会計監査人による監査報告会	理事長、各理事、森林保険センター所長
20日(火)	【研】五十嵐つくば市長視察、森林環境教育に関する意見交換	理事長、企画・総務・森林保険担当理事
23日(金)	【共】農林水産省国立研究開発法人審議会第24回林野部会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
26日(月)	【研】フェローの集い	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
28日(水)	【共】第1回ダイバーシティ推進委員会	企画・総務・森林保険担当理事、法令遵守担当理事
29日(木)	【共】第16回国立研究開発法人協議会総会	理事長、研究担当理事
30日(金)	【研・整】日本森林技術協会第78回定時総会	理事長、森林業務担当理事
7月4日(火)	【研】日本農学アカデミー第26回理事会	理事長
5日(水)	【研】日本製鉄(株)波崎研究開発センター視察	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、法令遵守担当理事

※ 【研】：森林総合研究所、【育】：林木育種センター、【整】：森林整備センター、【保】：森林保険センター、【共】：共通の行事 の略

森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

○ 公開済の研究成果

	広報タイトル	研究者・担当者名	掲載誌名	論文公開時期	備考
1	北日本の主要樹種の寿命を推定 —天然林の再生のための重要情報—	マサキ 勉 正木 隆 研究ディレクター	Journal of Forest Research	2023年5月	プレスリリース
2	積載型集材車両による身体負荷を腕時計型センサで 簡単計測	ナカタチ 中田 知沙 林業工学研究領域	森林利用学会誌、38 巻2号	2023年5月	
3	スギの根が山腹の表層崩壊を防止する機能の評価 手法を開発 —皆伐から10年で大幅に低減するが再造林を行えば 回復も早い—	オカダ ヤスヒコ 岡田 康彦 森林防災研究領域	Forests	2023年1月	プレス リリース

○ 最近のシンポジウム・イベント

	名称	担当	主催等	開催場所	開催日	備考
1	2023年度 林野庁中央展示	森林総合研究所 企画部広報普及科	森林総合研究所	農林水産省7階 林野庁中央展示 ブース	6月19日(月) ～6月30日(金)	
2	シンポジウム「Research and Management of Forest and Biodiversity in Sarawak」(マレーシア国サラワク州における森林と生物多様性の研究と管理)	森林総合研究所 生物多様性・気候 変動研究拠点	一般社団法人 日本サラワク森林研究コンソーシアム (後援: 森林総合研究所)	つくば国際会議場	7月15日(土) 9:30～12:00	